

これまでの主な取組・現状

## 基本目標Ⅰ あらゆる分野における女性の活躍推進

- 男女共同参画推進宣言企業認定制度により、企業の自主的な取組を促進  
新たに女性活躍加速化クラスを創設(H30)  
R1目標300社(達成) ⇒ R6目標:600社(倍増)
- 全国トップクラスの高い女性就業率を活かし、さらなる女性管理職率の引き上げにつなげる必要  
→女性就業率51.8%(全国2位) H27国勢調査調べ

【R2県民意識調査結果】  
<女性が管理職に昇進することに賛成の割合>  
全体75.1%(男性:69.7%、女性:80.4%)  
<女性リーダーを増やす上での障害>  
・家事等における家庭内の協力が不十分(約5割)  
・長時間労働の改善が不十分(約4割)

## 基本目標Ⅱ 安全・安心な暮らしの実現

- 性暴力被害のワンストップ支援センター「パープルサポートいしかわ」を開設(H29.10)  
→相談件数 H29:124件 H30:354件 R1:391件
- 性暴力被害相談の約7割が若年層に集中
- 全市町でDV防止基本計画を策定(H31.4)  
→全国6番目(現在7府県)

【R2県民意識調査結果】  
<DVや性暴力等の暴力防止に必要なこと>  
・相談窓口等の充実(約7割)  
・加害者への罰則強化(約6割)  
・学校での教育(5割超)

## 基本目標Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革等

- 県全体での意識啓発の推進により、男女共同参画への理解を促進

【R2県民意識調査結果】  
<「男女共同参画社会」という用語の周知度>  
64.5%(H27) ⇒ 70.4%(R2)

- 県民意識調査(R2)では、「社会全体で男女の地位が平等だと感じる人の割合」が低く、男女間に意識差

【R2県民意識調査結果】  
<社会全体で男女の地位が平等だと感じる人の割合>  
全体11.6%(男性:16.8%、女性:7.5%)

取組の方向性

## 働く女性の活躍推進に向けた企業の具体的な取組の後押し

- 加速化クラスの認定企業の拡大  
→業界団体向け出前講座の実施
- 認定企業等の目標達成の後押し  
→企業へのアドバイザー派遣
- 女性の管理職への登用の支援  
→各企業の女性管理職向け研修の実施



【参考:プランにおける主な数値目標】

女性活躍加速化クラス認定企業数  
308社(R1) ⇒ 600社(R6)

県内全体の女性管理職率  
14.7%(H27) ⇒ 25%(R12)

## 若年層の性暴力被害への対応の充実強化

- 中学生向け出前講座によるきめ細かな周知啓発
- 4月を集中月間とした大学生等への重点的な啓発
- メールによる相談の開始  
(パープルサポートいしかわ)
- DV被害者支援・予防啓発の手引きの改定



【参考:プランにおける主な数値目標】

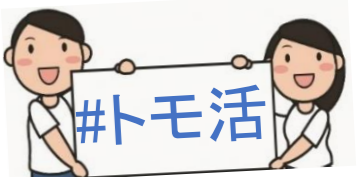
性暴力に関する若年層向け出前講座の実施数  
150講座(R7)

## 様々な場面、性別、年代を通じた幅広い層への意識啓発

男女がトモ(共)に活躍する

「トモ活」を新しいキーワードとし、事業を一体的に展開

- 家庭での男女共同参画エピソード・アイデアの募集
- 中高生による先進企業等の訪問
- 男女共同参画推進活動に対する表彰制度



【参考:プランにおける主な数値目標】

「社会全体における男女の地位」が平等だと感じる人の割合 11.6%(R2) ⇒ 50%(R7)